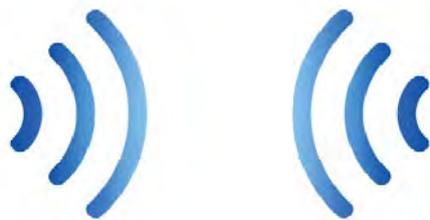


新たななる一歩

The
Rifle Sports



スマホ防犯は、ALSOK。



※画面はイメージです

HOME ALSOK Connect コネクト

24時間
365日受付



サンキュー ツヨイ ミカタ
0120-39-2413



やまとなでしこ 初めの一步

～にっぽん女性射撃手 History ライフル編

2023年、日本ライフル射撃競技は射撃スポーツを共生スポーツと位置づけ、老若男女、障がいの有無に関係なく、同じ土俵で戦える競技として本格的に始動しました。現在、女性射手たちは男女差のない競技の利を生かし、のびのびと実力を発揮しています。しかし、この環境を手に入れるまで、女性射手にはどのような物語があったのでしょうか。

日本の女性射撃の歴史はどこから始まっているのか。ライスポではそこに焦点を当て、過去の「ライフルスポーツ」誌や関係者の資料を紐解き、調べてみました。今回はライフルに関する「初めて」をご紹介します。



協会史から読み解く 昭和の女性射手に寄せる想い

日本ライフル射撃協会史（大正・昭和編）は日本の射撃の歴史を綴る貴重な資料だ。残念ながら、女性射手に関する記述はあまりなく、この一冊からでは女性射手の歴史がどこからスタートしたのかはわからない。しかし、この時代、女性射手に対する世間の視線はどのようなものだったのかは知ることができるので、ご紹介したい。（『ビーム・ライフルのあゆみ 文筆／菊地 孝之』国体への女子種目の採用と80式銃の開発／国体の変遷②より抜粋）

『ある選手が「日ラが女子種目を国体に入れたことは、今までの最大のできごとであり、おそらく今後100年経ってもこのようなカルチャーシヨックはないだろう」といったのを覚えているが、まさに女子種目は国体会場のメイン・イベントなのである。

競技中はそのムードにおされ、口をきくさえもない。彼女たちの志我の努力に目をうばわれてしまうのである。これこそ「やまとなでしこ」の真の姿であり、これこそが立派な日本人を生んでくれ、そして人間にとって最も大切な幼児教育をしてくれる母親としてのすばらしい姿である。

母親が国体の選手であれば、その子達が母親を超えるには国体選手以上にならなければならない。子どもたちは母親を尊敬して育ち、母親を追い越すために努力をするであろう。その姿に非行の影など入る余地はない。ただ黙々と自分の選んだ道を歩むはずである。子どもたちがそのような環境にあることはすばらしい。

これからの日本は休日が多くなる。休日が少ないときはレジャーとしてのスポーツでよかったらう。しかし休日が増えれば、人々は必然的にチャリジョン・スポーツに挑戦するであろう。このとき本当に必要なのは母親の姿ではなかるか』

婦人参政権の獲得
1945年 (昭和20年)

女性に初めて選挙権と被選挙権が認められる (翌1946年4月、行使)

戦後初の女性国会議員誕生
1946年 (昭和21年)

戦後初の衆議院選挙で39名の女性議員が誕生。女性の政治参加が本格化

日本国憲法施行 (第14条)
1947年 (昭和22年)

男女平等を保障する憲法が施行され、法のもと男女平等が確立される

猪熊 幸夫 ヘルシンキ大会 (昭和27年)
1952年

日本からオリンピック射撃競技に初出場。SB伏17位

保坂 調司 メルボルン大会 (昭和31年)
1956年

FP 4位入賞

吉川 貴久 ローマ大会 (昭和35年)
1960年

FP 銅メダル獲得

吉川 貴久 東京大会 (昭和39年)
1964年

FP 銅メダル獲得

母子保健法、制定
1965年 (昭和40年)

翌年施行。女性の健康と権利の向上に寄与

1954年 (昭和29年)

PEOPLE

試合に出場した女子射手第1号
青山学院大学 女子学生

第2次大戦後に学生連盟が復活し、第1回全日本学生ライフル射撃選手権大会が開催された記念すべき学連出発の日。自由銃の部において青山学院大学から女性射手が1名、出場していたとの記録がある。これが確認できる残存資料にあるもっとも古い女性射手の記述で、この女性が試合に出場した第1号の女性射手と思われる。残念ながら、名前はわかっていない。

参考資料

『日本学生ライフル射撃連盟の創成～昭和29年の記録～ 日本ライフル射撃協会副会長 星名 倫 (前略) 青山学院の自由銃のメンバーの一人は確か女性だったと記憶している。今でこそ女性上位といわれる程沢山の女子選手が活躍しているが、当時、女性射手はたいへん珍しく、しかも美人で射撃も上手だったから今も記憶に残っている』(学連40周年誌より)

1964年 (昭和39年)

PEOPLE

高校選手権に出場した高校女子射手第1号
藤井 文代

日本中が沸いた東京オリンピック開催の年、宮城県秋保村 (現・宮城県仙台市) で第2回高等学校選手権大会が開催された。この大会において、唯一の女子選手として出場した藤井文代選手 (奈良一条高校) が女子高生射手第1号だ。

藤井選手が『高校射撃 第3号』に語った言葉が残っている。

参考資料

『秋保村に到着するとすぐに村の人がやってきて民宿のお宅を親切に教えてくださいました。そのとき「女のかたですか!」とびっくりしておられたので、<やっぱ女は私ひとりかしら。心ぼそいなあ!>とまたまた胸中不安になってきた。もうあたりはうす暗く、すぐく田舎だなあという実感がわいてきて、どこに有名な秋保村射撃場があるのだろうと思った。民宿のお宅で奈良から持ってきた絵葉書と奈良づけを渡すと、すごく喜んでもらい、私としては郷土の良さと味をこんなに遠く東北で味わってもらえるのかと思うと、すごくうれしかった。』(『日本ライフル射撃協会誌』より)

PEOPLE

国民体育大会出場 女子射手第1号
渡部 保江

新潟県で開催された第19回国民体育大会 (現・国民スポーツ大会) から女子選手が出場している。第1号となるのは、渡部保江選手。当時、法政大学の大学生。関東学生選手権でも2連覇していた学生である。なお、当時は現在のような女子種目はなく、男女一緒に行われていた。(参考資料 昭和39年国際出版発行「月刊Gun」8月号)



1974年 (昭和49年)

EVENTS

女子スモールボア、初のナショナルチーム誕生

中国側からの要請を受け、女子のスモールボア日本代表の育成が初めて行われた。

参考資料

『中国派遣女子SB候補の特訓始まる

我が国射撃界ではまったく初めての女子スモールボア・ライフルのナショナルチームづくりが着々と進んでいる。これは本年6月中国で開催される日中親善大会に、中国側の強い要請で女子SB-3Pが組み入れられたため、急きょ学連 (日本学生ライフル射撃連盟) を動員、現役の女子学生から選抜されたもの。候補選手は次とおりで、このなかから3名が選考され、中国へ派遣される。彼女たちはいずれも、エア・ライフルではベテランであるが、大半はスモールボア・ライフルの経験がないので、特訓もなかなかたいへんである』(ライスポ同年3・4月号より)

*なお、代表候補は猿渡 秀子 (明治大)、室田 孝子 (明治大)、朝木 佳子 (獨協大)、荻原 千雪 (獨協大)、田中以緒里 (関東学院大)、酒井 幸子 (青山学院大)、大野由起子 (立教大)。本番では女子SSB-3P (60) で猿渡秀子選手が4位、女子AR-S (40) で稲村まゆみ選手が3位に入賞している。

PEOPLE

第41回世界射撃選手権に女子、初出場
猿渡 秀子 / 荻原 千雪 /
稲村まゆみ / 松代 文江

スイスで開催された世界選手権に初めて日本から女子選手が出場した。当時のライスポ「実質本位だったスイスの世界大会～日本選手団団長安高美氏に聞く～」には次のような一文がある。

参考資料

「女子が世界大会の空気にふれたことは、わが国女子競技振興に良い刺激となったと信じている。猿渡秀子選手がSSB-3Pで550点を出す健闘を見せたり荻原千雪選手もよくやったし、女子のエア・ピストル団体は12か国中6位になり、収穫があったといえよう。これからの女子競技は楽しみである」(同年ライスポ11月号)

日本射手による オリンピックでの活躍と戦後の日本社会



1975年 (昭和50年)

EVENTS
アジアで初となるアジア女子選手権大会の開催が決定

『クアラルンプール (マレーシア) で行われた第3回アジア射撃選手権大会の会場で、アジアの女子射撃振興のために、日本と韓国が共催で第1回アジア女子射撃選手権大会を開催することが話し合わせ、これが決定した』とライスポ10月号インフォメーションページで伝えている。

1977年 (昭和52年)

EVENTS
第1回亜細亜女性及青少年射撃選手権大会、開催

第1回アジア女性選手権はソウルで開催された。主催は亜細亜射撃連盟、韓国共同主管。参加国はビルマ、香港、インドネシア、フィリピン、タイ、日本、韓国の7カ国だった。

参考資料
『韓国遠征を終えて 渡辺 紀子 (前略) また、新設された射撃場も、その規模の点で驚かされたのはホテルを見たときにも劣らず、樹木や花壇において眺める白い建物はスマートで、今までの射場のイメージとはおよそ違ったものでした。その上、まだ利用はできませんでしたが、来年までにはホテルと射撃場を結ぶ専用道路が完成される予定らしく、これほど徹底して設備を整えることができる国家の力にうらやましさを感じてしまいました』 (ライスポ同年12月号)

1980年 (昭和55年)

EVENTS
国民体育大会で初女子種目、採用

国体の女子種目として初めて採用されたのは、「チームライフル成年女子射撃40発」。栃木国体で行われた。このときの優勝者は島根県の福島好子選手である。

1984年 (昭和59年)

PEOPLE
女子が正式種目となったロサンゼルス・オリンピックで、オリンピック日本女子代表選手第1号 香西 式子

1982年 (昭和57年) 全米射撃選手権AR2位で、1983年 (昭和58年) 11月に行われたオリンピック候補第2次記録会優勝の香西式子選手がスタンダードライフル・エアライフルの代表選手に決定。本番での成績はS B 3姿勢11位、AR10位。

1989年 (平成元年)

EVENTS
日本初の実業団チーム、誕生

1992年 (平成4年) のパルセロナオリンピックに向け、射撃界初の女子実業団チーム「日立情報システムズ射撃部」が誕生した。残念ながら、2021年度末に歴史ある女子クラブチームの活動は終了している。

参考資料
『日本初の実業団チーム誕生 香西、源、五輪選手が参加 日本初、それも女子だけのライフル射撃実業団チームが、10月2日に発足する。(中略) 女子だけのチームとしては、エアピストルの個人クラブチームでアニーオークレーがあるが、会社が前面支援する実業団は初めてだけに、これからの活躍が期待されている』 (ライスポ同年8月号)

1994年 (平成6年)

PEOPLE
国体監督、女性第1号 香西 式子

1994年愛知国体において、東京都国体監督にロサンゼルスオリンピック代表の香西式子さんが就任。初の女性監督としてチームを率いた。



男子はフリーライフル、女子はスタンダードライフルと銃には明らかな男女差があった

1952年ヘルシンキ大会に男性選手が出場してから7大会遅れた1984年ロサンゼルス大会、日本女性オリンピック選手が誕生しました（モスクワ大会を除く）。それが香西式子さんです。

昭和の後期から平成前期をライフル選手として活躍された香西さんに当時の女性射手の環境、ご自身の当時の考えを伺ってみました。

Profile

香西 式子 こうさい のりこ

福岡県出身。1982年全米選手権AR2位、1983年同大会6位。1984年ロサンゼルスオリンピックSB3・11位、AR10位。1992年バルセロナオリンピックSB3・30位、AR37位。



時代の証言者、

日本初のオリンピックピック女子選手 香西 式子氏に聞く

特集

——ご結婚されてから射撃を始められたと伺っております。

香西 はい。主人（香西俊輔・元全日本コーチ）が射撃をやっていたことがきっかけでした。それまでの私は美術大学出身のグラフィックデザイナーと、スポーツとはまったく無縁な生活だったのですが、結婚してから主人について遊び感覚で空気銃を撃つようになりました。

——本格的に始めることになったきっかけは？

香西 結婚してすぐにJOCの事業で主人が2年間アメリカにコーチングの勉強に行くことになり、仕事をやめて主人について行くことになりました。そこで出会ったのが、モントリオールオリンピック（1976年）金メダリストのラリー・バッシュム氏です。彼は牧場を経営してらして、牧場内にプライベートの射撃場を持っていました。そこで私たち夫婦は暮らすことになり、いつしか私も本格的にやるようになりました。

——当時の日本女性射手がおかれた環境はどのようなものだったのでしょうか？

香西 現在のような女子種目はなく、男女一緒に競技でした。女性射手はいましたが、自衛隊の選手などが強くて女性はなかなか試合に出られないという感じでしたね。

——銃も異なると聞いています。ロサンゼルス大会のリザルトを見ると、スモールポア・ライフル3姿勢スタンダードライフルとなっていました。

香西 はい。男子はフリーライフルといっ自分の体に合わせてパーツを付けたり

動かしたりできる、銃の形状に制限がないライフルを使用していましたが、女子はそれがいっさいついていない、補助品を削ぎ落としたいわゆるスタンダードな銃でした。標的の大きさは同じでしたが、引き金の位置も変えられませんでした。

——男女に差がつけられていたんですね。その背景にはどんなことがあったのでしょうか？

香西 男女一緒に競技を行っていた1976年のモントリオール大会で、男子選手と女子選手が金メダルを争ったんですね。そこから、女性のスポーツ参加に否定的な見方を持つイスラム系の方々の反対があり、銃の種類や試合数などの変更があった、と聞いたことがあります。

——ロスとバルセロナ、2大会に出場するという選手としての実績を残し、女性初の国体、実業団チームで指導され、出産・子育てと、女性として求められている人生を歩まれていきます。しかしながら、出産はその間競技者としてのキャリアが一時的にストップしますし、女性にとつて大きな勇気がいる決断です。このあたりは香西さんの場合、どうお考えになりましたか？

香西 ソウル大会で源洋子さん（88ソウル、92バルセロナ、96アトランタ代表）ライフルが頑張ってくれたおかげで、日立情報システムが射撃部を創部してくれたんですね。そこに私も呼ばれ、選手兼コーチとなりました。でも、この頃から世界と比べて成績があまり伸びていなかったんです。海外



の合宿に行って3ヶ月しっかり体を鍛えれば伸びると言われましたが、主婦業もあります。主人に成功してほしいという気持ちも強かった。そんなことから、自分のために海外へ行く考えはなく、選手としての引退を決断しました。出産したのは現役を退いてからです。射撃をしている姿を見せたかったので、子どもが3つくらいまでは撃っていません。本人は覚えていないかもしれませんが、引退を決めたとき、やりきったと思われましたか？

香西 自分としては物足りない思いは正直ありました。続けたいと言えば主人は反対しなかったと思います。でも、私の性格は物事をきっちりしっかりやりたいタイプなので、家庭との両立は絶対にできない。それに、わりとバツサリ切り捨ててしまうところもあるんですよ。それで、選手としての道を断ち切り、家庭を選びました。

——現在、趣味として射撃を楽しんでいますか？

香西 いえ、1、2年前にすべて手放しました。いまもやりたい気持ちはあります。標的にあたる感覚、射撃音、引き金を引く感覚、懐かしいですね。



SIUS と共に 新たなステージへ

 SWISS PRECISION

日本における
光学式電子標的・超音波式電子標的の
リーディングカンパニー

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)
SIUS社 日本総代理店



日本ビーム株式会社





射撃学

アスリートのための女性講座

その1

女性アスリートのコンディションニング

今回からハイパフォーマンススポーツセンター・国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部門婦人科の能瀬さやかドクターにご協力いただき、不定期で女性アスリート特有の体の問題について取り上げていきます。

第1回目の春号では、女性が避けては通れない『月経』について解説していただきます。

女性アスリートのコンディションニングを考える際、low energy availability (LEA) に伴う無月経や、月経困難症、月経前症候群、過多月経等の月経随伴症状、妊娠、出産、更年期障害など、女性特有の医学的問題について念頭においた対応が必要となる。ライフル射撃の選手では、エネルギー消費量に対し食事からのエネルギー摂取量が不足した状態であるLEAによる月経周期異常の頻度は低く、月経随伴症状が問題となるケースが多い。近年、月経随伴症状が運動パフォーマンスに影響を与えていることを示す報告が増えており、本稿では月経随伴症状について解説する。

1、月経随伴症状

① 月経困難症

「月経に随伴して起こる病的症状で日

常生活に支障をきたすもの」と定義され、症状は下腹部痛、腰痛、頭痛、吐気、腹部膨満感、下痢、全身倦怠感等さまざまであり、女性アスリートのコンディションにもっとも影響を与える婦人科疾患である。月経困難症は、子宮や卵巣に異常を認めない「機能性月経困難症」と子宮筋腫や卵巣嚢腫等の疾患が痛みの原因となる「器質性月経困難症」に分類され、後者については疾患ごとに治療法が異なる。特に下腹部痛や腰痛、頭痛等の疼痛の症状が強いライフル射撃の選手においては、競技への影響が強くみられる傾向にある。また、頻繁に月経困難症を認める女性においては、不妊症の原因となる子宮内膜症のリスクが高いことが明らかとなっており、生涯の女性の健康を考えるうえでも介入が必要となる。

② 月経前症候群

(Premenstrual syndrome : PMS)

月経3〜10日前からいらいらや気分落ち込みなどの精神症状や体重増加、浮腫、食欲亢進、眠気等の身体的症状が出現し、月経が開始するとこれらの症状が改善または消失するものと定義される。PMSの症状は200種類以上あるとされ、これらの症状のなかで特に精神症状が強いものを月経前不快気分障害 (Premenstrual Dysphoric Disorder : PMDD) と呼ぶ。ライフル射撃の選手においては、特に月経前にみられるイライラや不安、情緒不安定、抑うつ、集中力低下等の精神症状がパフォーマンスに影響を与える傾向にある。アスリートにおいては、精神面の症状がPMSによるものか、それとも競技生活のさまざまな要因によるものかの鑑別が難しいケースがあるが、このような場合は、月経周期と症状に関連があるか2〜3か月月経日や症状について記録をつけるとよい。毎回月経前に症状が繰り返しみられている場合はPMSが疑われる。

③ 過多月経

経血量については、他人との比較が難しいが、500円玉くらいの大きさのレ

Profile

能瀬さやか

のせ・さやか

ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ医学研究部門 婦人科、浜田病院産婦人科 女性アスリート外来 非常勤。日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科学会指導医、日本生殖医学会生殖医療専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、医学博士。

北里大学医学部卒業、同愛記念病院で研修後、東京大学産婦人科学教室入局。東京大学医学部附属病院産婦人科、総合母子保健センター愛育病院、焼津市立総合病院、東京日立病院、八戸クリニック産婦人科勤務。2012年に国立スポーツ科学センターメディカルセンター、2017年東京大学医学部附属病院女性診療科・産科、助教。2022年東京大学医学部附属病院女性診療科・産科、特任講師。2023年現職。

スポーツ庁スポーツ基本計画部会委員、スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員、日本オリンピック委員会アントラージュ専門部会部会委員、日本パラリンピック委員会女性スポーツ委員会委員長等



バー状の血の塊が出る、夜用ナプキンを1〜2時間毎に変更する場合などは過多月経を疑う。過多月経を認める選手では、練習や競技会、遠征時の移動等において、経血自体が不安要素となることも多い。過多月経を疑う場合は、子宮筋腫や子宮内膜ポリープなど、過多月経の原因となる疾患がないか婦人科で診察を受けるとともに、過多月経が貧血の原因となっている場合は、経血量を少なくする、または月経の回数を少なくする治療を行う。

④ 月経周期と主観的コンディション

トップアスリートの91%が月経周期と主観的コンディションの変化を自覚しており、月経終了後にコンディションがよいことを自覚しているアスリートは多い。月経随伴症状がないアスリートにおいては、月経周期と主観的コンディションには関連がないと回答する傾向にあり、月経随伴症状の有無が主観的コンディションに影響を与えていると考えられる。

2、ホルモン製剤を用いた月経対策

① Oral Contraceptives・Low-dose Estrogen Progestin 配合薬 (OC・LLEP)

前述のような月経随伴症状が、コンディションや運動パフォーマンスに影響を与える場合は、月経対策を考慮する。その際、アスリートは月経随伴症状の改善に加え、試合や練習日程に合わせて月経周

期の調節も同時に行う。月経随伴症状に対し、産婦人科医が処方する機会が多い薬剤は、一般的に低用量ピルとして知られているOral Contraceptives・Low-dose Estrogen Progestin 配合薬(経口避妊薬・低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬、以下OC・LLEP)であり、同時に月経周期調節も可能である(ただし保険適用は、子宮内膜症に伴う疼痛の改善、月経困難症、生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整(商品により異なる))。

OC・LLEPは、自然月経2〜5日目から服用を開始し、服用中は月経が止まり、原則服用中止2〜3日後に月経(消退出血)が来る。このため、試合や練習日程を考慮して月経を止めたい期間は服用を継続し、月経が来てもよい時期に休業する。月経随伴症状の治療と月経周期調節が同時に可能となる。OC・LLEPの副作用には、吐気、頭痛、乳房の張り、下腹部痛、不正性器出血、一時的な体重増加、血栓症などがあり、服用後3か月以内に多いとされているが、軽度な副作用の大半が服用を継続するうちに改善していく。ただし、目標とする試合に合わせ服用を開始する場合には、副作用が出現した際や服用に慣れる期間を確保し、遅くとも副作用に対応可能である2カ月前くらい前までには服用を開始しておくことが望ましい。試合が少ない時期やシ

ズンオフの時期からの服用を開始するなど、練習や試合日程を医師と確認の上開始時期を決定する。

② プロゲステン製剤

また、近年OC・LLEP以外にプロゲステン製剤を用いて月経対策を行う選手も増えてつつある。OC・LLEPとプロゲステン製剤のうちジェノゲストを例に挙げ、両者の違いを表1に示す。年間を通して月経を起こすことを希望しない場合や、OC・LLEP禁忌症例(例…血栓症の既往、前兆を伴う片頭痛の症例等)、さまざまなOC・LLEPを試したがコンディションが改善しない場合などは、プロゲ

表1 OC・LLEPとジェノゲストとの違い

	OC・LLEP	プロゲステン製剤(例 ジェノゲスト)
含まれるホルモン	エストロゲン プロゲステン	プロゲステン
服用回数	1日1回	1日2回
休業	あり (月経を起こす)	なし (月経を起こさない)
血栓症のリスク	あり	ほとんどない
避妊効果	++	+

《保険適応》 ジェノゲスト 1mg: 子宮内膜症、子宮腺筋症に伴う疼痛の改善
ジェノゲスト 0.5mg: 月経困難症

ステイン製剤を用いるケースもある。

近年、月経随伴症状に対し用いられるホルモン製剤の選択肢も増えており、また、コンディションニングの一環として月経随伴症状に対し治療を希望するアスリートも増えている。

3、より良いサポートのために

アスリートにおいては、月経日や症状、体重を記録するなど日頃から自身の身体の変化を把握し、変化や異常に気づいた際は適切に指導者やメディカルスタッフ等に正しく伝えることがコンディションニングの第一歩となる。また、保護者や指導者など、アスリートに関わる周囲のスタッフにおいては、日頃からアスリートが相談しやすい環境づくりや定期的なスクリーニングの実施は、課題の早期発見や解決につながる。特に男性指導者からは、女子選手に月経など女性特有の問題について直接確認しにくい、という声を多く聞く。このような場合は、練習日誌やアプリなどを通してアスリートの症状を確認したり、3〜4か月ごとに月経日や月経痛の有無、月経前の症状等について質問用紙に記載してもらい、チームスタッフが回収し確認する方法もある。また、講習会やセミナーなどを通してアスリートやスタッフがお互いの性差を学ぶ機会をもつことは、双方のよりよいコミュニケーションにつながっていくだろう。



パリ 2024 を終え、ロサンゼルス 2028 に向けた強化がスタートしています。先月号でお伝えしたとおり、コーチ陣も顔ぶれが変わり松田知幸氏（ピストル）、キム・ヨンゲン氏（ライフル／韓国）が新しくコーチに就任しました。パラ射撃でも中重 勝氏（ピストル）、野口優太氏（ライフル）が加わり、こちらも活動を開始しています。

そこで今回は、ヨンゲン氏、中重氏、野口氏の3人にスポットをあて、その人物像に迫ります。

ロスではファイナルの舞台へ 選手とともに世界に挑む三銃士たち



キム・ヨンゲン
(50mライフル／韓国)



野口 優太
(パラ射撃／ライフル)



中重 勝
(パラ射撃／ピストル)

キム・ヨングン

50mライフル／韓国

信頼関係が築けなければ よい指導者とはいえない

日本の指導者になったことについて、韓国の人はみな不思議に思っているようです。韓国では、私は成功した指導者のうちの一人と考えられています。現役時代から大学で教員資格を取得し、修士課程も終了。その後にはスポーツ心理学の博士号も取得し、指導者として高校、大学、ジュニアを教え、昨年のパリでは代表チームを率い、エアのミックスではメダル（銀）も獲得しました。そんなこともあり、私自身もまだ韓国で指導していくだろうと思っていたのですが、その一方で新しい環境でやってみたいという気持ちもありました。そんなときに日本から指導の話が届きました。日本人選手については、私が指導すれば国際大会でもつよい成績が出せるという自信はありましたが、日本について何も知りませんでした。まずは単身で来日してみたところ、これなら家族を連

れてきて安心だと思い、日本での指導者の道を決めました。

現在、銃を撃つまでの行為を一つひとつ洗い出し、正しく必要な動作だけをするよう指導しているところで。韓国でメダルをとった選手にも行ったことで、ムダな動きを削ぎ落とし、ベストなパフォーマンスをつくることから始めています。

しかしながら、実際に指導を始めて感じるのは、選手たちのおかれた環境の難しさです。韓国では大学を卒業すると選手の多くは実業団に入り、給料をもらいながら射撃を続けます。一方、日本の場合、会社勤めをしているために才能ある選手でも練習時間が限られてしまったり、ナショナル合宿中でも仕事に戻らなければならぬ場合があります。そうなるのと、せっかくやった指導が途切れてしまうことになる。例えば、韓国ではナショナル合宿で10日間教えると、実業団チームに戻ってそれについて集中して練習できるので次の指導までに70%程度の完成率で仕上げられますが、日本の場合、10日間教えて地元に戻るとじっくり取り組める環境がないため、次の合宿では教えたことの10%程度しか残っていない。特に、S・Bは目が出るまでに時間がかかる競技です。韓国の基準でいうと、高校1年で始めて全盛期を迎えるのは30歳頃なので、練習できないのは非常に厳しい。とはいえ、どうにもならないことなので、直接選手とSNSでやりとりするなど、方法を探っているところです。

指導で大切にしているのは、心のコミュニケーション。どれだけ素晴らしい指導者でも信頼関係が築けなければ、よい指導者とはいえません。そのための努力をまず、私はしていきたいと考えています。そして、選手たちには、次の言葉を伝えたいと思います。

「国内でトップという考えは捨ててください。練習がたいへんでも我慢してください。最後まで逃げないで頑張ってください。」

キム・ヨングン

韓国出身。1993年から射撃を始め、30歳で引退。高校、大学、ジュニアなど14年間指導にあたり、2024パリオリンピックではコーチとして韓国代表チームを率い、エアミックスで銀メダルを獲得（クム/パク）。2024年12月からライフル（50m）のコーチとして指導にあたっている。

標的射撃に導いてくれた 恩師の立った地へ選手とともに

3年後にパラリンピックが開かれるロサンゼルスは、個人的にもとても思い入れのある地です。最初の恩師がロスオリンピック代表の故・中條公行先生だからです。そもそも祖父がクレイ射撃をやっていた関係で、小さい頃から射撃に興味がありました。クレイは18歳にならないとできないので諦めていたのですが、エアライフルなら高校の部活動にあると知り、しかも自宅近くの高校だったので、迷わず入学。射撃部を見学に行ったところ、新入生の僕らに「射撃はこう見えて厳しい運動部。銃を撃ってみたいという軽い気持ちで入らないでください」と言う熱い指導者がいました。それが中條先生だったのです。以来、標的射撃にドハマリしまして大学でも射撃を続け、ここでもオリンピアン源洋子さんから指導を受けました。成績の面では現在、強化選手とし

野口の優太

パラ射撃／ライフル

野口 優太

埼玉県出身。栄北高校で射撃を始める。日本大学卒業後、東京オリンピックを目指すも代表への道は叶わず、埼玉県でジュニアの指導、射撃場、日本ライフル射撃協会などでアルバイト。2023年6月から日本パラ射撃連盟事務局兼コーチ、2023年12月からライフル専任コーチ。



て頑張っている遠藤雅也、鳥田敦といった後輩がいたこともあり輝かしいものではありませんが、充実していました。大学卒業後も射撃を続けるために就職せず、ジュニアの指導をしたり、射撃場や日本ライフル射撃協会などでアルバイトをしたりしていたところ、パラ射撃から専属の指導者としてやってみたいかと声をかけていただきました。

パラの選手は初めてですが、これまでさまざまな年齢の選手と接してきて、パラもオリも変わらず、その人、その人に合ったセッティングや指導法があるということがわかりました。特にパラ選手にとってセッティングは非常に重要です。オリの選手であれば教科書どおりにいくことが、パラの選手にはより独特の、その人に合ったセッティングが必要になってくるからです。そのためにはたくさんの知識が必要になってきますが、日本ではパラの選手はまだ少ないので、海外に出たときに外国人選手を観察し、勉強させてもらっています。

その一方で、趣味として競技も続けています。トップを目指すつもりはありませんが、例えば最新のパーツなど、選手としてやっていることが選手に使える技術を集めることにつながるので、指導と選手の二刀流はいまのところいい相乗効果を生んでいます。

次のロスはオリとパラの違いはありますが、恩師が立った舞台です。僕も選手とともにその地に立つことを目指し、僕にできるサポートの仕方です。全力投球していきます。

選手とともに悩み、学びながら、ロスを目指す

なかしげ まさる 中重 勝 パラ射撃／ピストル

実は警察では音楽隊に入りました。高校時代、吹奏楽部でトランペットを吹いていましたから。

ところが、同期のなかでもよくあたるということになって選手に選ばれ、射撃の道を進むことになりました。

国際大会を意識するようになったのは、ソウルオリンピックが終わった頃です。国体で3位になって全国から選手が集められた警察庁の特練（拳銃特別訓練員）に入り、1994年地元・広島で開催されたアジア大会で金・銀・銅メダルを獲得することができました。その後、アトランタ・シドニー・アテネと3大会オリンピックに出場したのち、競技を続けながら後進の指導などにあたってきました。

パラ射撃コーチの話は、前任者である羽田（順一）コーチの退任が決まったことから私に白羽の矢が立ったようです。ちょうど定年で職探しをしようと考えていたところだったので、微力でも力になれるならとお引き受けしました。とはいえ、パラ射撃について、競技はもちろん選手のことでもまったく知らなかったもので、当初は戸惑うことばかり。これまで自分が考えていた「あたりまえ」があたりまえではないことを知り、パランスのとり方など、一つひとつの違いが理解できていないので、猪坂（桂）さん、野口（優太）さん、そして選手自身に教えてもらいながら学んでいます。射撃について、改めて一から学び直しているといったところでしょうか。



中重 勝

広島県出身。広島県警察で射撃を始め、1994年広島アジア大会3位。1996アトランタ・2000シドニー・2004アテネとオリンピックに出場（フリーピストル・エアピストル）。2024年4月からパラ射撃／ピストルのコーチとして指導にあたっている。

パラ射撃の選手は障がい、年代、目的や目標もさまざまです。そんな選手たちにより高い目標を持つてもらえるよう、意識づけするため栄養やメデイカルの講義を取り入れるなど、新たな取り組みを始めました。また、現在オリンピック代表コーチを務めている松田（知幸）さんはオリンピックに向けて苦難を一緒に乗り越えてきた、なんでも話せる後輩です。彼がいるので、オリンピック代表たちともぜひ意見交換などを行って互いに理解しあい、意識を高めあっていくことができれば、とも考えています。

私はこれまで選手として、たくさんの方から教えを受け、支えてもらいました。受けた恩を今度私がみなさんに還元していく番です。コーチという立場ではありますが、パラの選手とともに悩んで、学んで、課題を克服しながら、3年後のロスに向かって一緒に歩いていきたいと思っています。

エミール・ドシャノフ前コーチ、退任に寄せて

1999年から2024年までの25年間のあいだ、日本のナショナルチームコーチとして指導してくださったエミール・ドシャノフ氏（ブルガリア）がパリオリンピックを最後に退任されました。

「コーチングという仕事は芸術家に似ている。選手という素材をいかに美しい芸術作品につくりあげるかということ」と語ってくれたエミール前コーチ。パリ後には、日本の選手に向けて「みなさんは無限の可能性と、究極の成功を達成する能力を持っていることを忘れないで、信じてください」という言葉を残してくださいました。

熱い心を持ったエミール前コーチへ、直接指導を受けたピストルの選手たちから届いた感謝の言葉を贈ります。



25年の長きにわたり日本のコーチであったエミール・ドシャノフコーチは、松田知幸さんをはじめ多くの選手を育てました。彼の人あたりのよさと優しさ・コミュニケーション力、そして指導力は、日本の選手・スタッフに多くの力を与えてくれました。感謝を伝える会に、多くの選手やOBOG・関係者が一堂に会したことは、その人望が表されていたと思います。

改めて25年間の指導に感謝するとともに、エミールコーチが日本に与えてくれた力をこれからもっと成長させ恩返しをしていきます。

(佐橋 朋木／選手強化委員長)

まずはエミール、お疲れ様でした。20数年彼と接してきて感じているのは、日本語こそ覚えませんでした。彼は日本人よりも日本に馴染んだ外国人だったということ。エミールは選手が安心して試合に臨める環境をつくってくれるコーチでした。私の理想のコーチ像で、彼のような指導者になりたいと思っています。

(中重 勝／ナショナルパラコーチ)

コーチとは22年間、喜怒哀楽を分かち合い深い信頼と絆を築きました。射撃の資質向上だけでなく、生きがいを見つけるまで心に寄り添ってくれた恩師です。私も将来 その姿勢を見習い、ユーモアと笑顔にあふれた愛のあるコーチを目指します。(小西ゆかり)



ありがとう!



エミール



「射撃は芸術、強さは生活から」とよく指導されたなかで、夢や情熱を抱いたり指先から得られる感覚に目を向けたりできる感性が、自分の射撃を測る物差しでもあることに気づきました。すなわち、射撃は自分自身を表すことを学びました。

(堀水宏次朗／アスリート委員長)

まず初めに。エミールコーチ、長年に渡り日本に貢献して下さりありがとうございました。エミールコーチからは射撃指導に限らず、イメージの大切さ、人を大事にするものの大切さ、アスリートとしての人間力など、私の射撃の基本をたくさん教えていただきました。これからもエミールの教えを守って、結果で恩返ししていきたいです。

(山田 聡子)

私はエミール氏に出会えて世界の扉が開きました。本当に感謝しています。

エミール氏はいつも温かく、選手のために常に動いてくれるコーチでした。私もエミール氏から学んだことを活かして、選手と一緒に成長して、いつの日かエミール氏のように愛され、惜しまれながら選手・スタッフたちに送られるコーチになりたいと思います。

(松田 知幸／ナショナルコーチ)

PROFILE

Emil Dshanov
エミール・ドシャノフ

1962年生まれ。ブルガリア出身。15歳でピストルを始め、ブルガリア選手権でラピッド・ファイア・ピストルの世界記録を樹立するなど実績をあげ、29歳で引退。オリンピックで5個のメダルを獲得したマリア・クロズデバ選手らを育て、1999年から日本のナショナルコーチを務めた。2024年パリオリンピック後に退任。

大分県ライフル射撃協会

世界の實力を
地方都市大会から発信する

理事長

松本 光泰

DATA

大分県ライフル射撃協会

大分県由布市庄内町大龍 1314 番地

射撃場：大分県立庄内屋内競技場

設立：昭和 35 年（大分県体育協会に正式加盟）

小さな射撃場は県内にいくつかありますが、主に使用しているのは、昨年佐賀で行われた国民スポーツ大会（佐賀スポ）で県外の大会会場として利用された庄内屋内競技場です。以前は別府のほうに射撃場があったのですが、2008年の大分国体が決まった際、ここが国体用として新たに建設されたと聞いています。射撃人口を増やすためにはもつと大分市内に近い場所にできたほうがよかったですと思いますが、これだけの大きさのものを建てることは難しかったのかもしれませんが。

会員数は現在、高校生、一般をあわせて150名程度というところでしょうか。その中心となっているのが高校生の会員で、県内には先のパリオリンピックに出場した野畑美咲選手を輩出している由布高校と、東九州龍谷高校の2校に射撃部があります。また、部活動はありませんが、別府翔青高校から個人で練習に参加している選手がいます。こうした点から考えると、大分は高校生に支え

られているといっても過言ではないでしょう。ただ残念ながら、県内に射撃部がある大学はなく、卒業後も続けたいという選手は県外に出ていくしかない現状があります。

こうした環境のなかで、なぜオリンピック選手が輩出できたのか、といえば、これはひとえに磯部直樹コーチの指導の賜物です。2008年の地元・大分国体が決まったときから元日本代表選手でもある磯部コーチにトップ選手たちの指導に携わってもらっているのですが、その流れでこの射撃場を練習場としている由布高校の實力が格段に伸びました。そのなかの一人が野畑選手です。そして、彼の指導を受けた由布高校のOBたちが指導のお手伝いをするようになり、磯部指導の流れを汲んだ教えが引き継がれ、相乗効果で強くなっているのだと思います。このように考えていくと、国体の意義というのは本当に大きなものがありますね。

*

オリンピックが誕生したことで、県内の盛り上がりには驚くほどのものがあります。体験会の要請もありますし、大分県では年に2回、スポーツデーと称したイベントを開催しているのですが、毎回大分市内という人も多いところで体験会を実施しています。

さらに県内のレベルを上げるため、全国規模の大会を開きたいと考えていましたところ、野畑選手の父でもある野畑卓宏事務局長が主体となって韓国チーム招聘事業を立ち上げ、大分県、由布市、韓国チーム、日ラ、明治大学OB会の協力を得て、この度、『日韓親善試合』をここ庄内競技場での開催が実現。世界の實力を地方都市大会で身近に魅せたい、という願いが叶いました。このような大会ができましたのは、関わってくださったみなさまの努力のおかげです。深く感謝申し上げます。これからさらに大きく野畑美咲選手が世界に羽ばたけるか、また彼女に続く選手が誕生するか、楽しみです。

日韓国交正常化60周年記念事業～日韓親善試合 大分大会

開催地：大分県庄内屋内競技場（大分県）
 開催日：2025年3月2日（日）
 報告者：野畑 卓宏／大分県ラ事務局長



由布市スポーツ振興課、明治大学射撃部、同志社大学射撃部でお出迎え



由布高校射撃部員によるウエルカムボード披露



ピストル選手との交流会



エアライフル男子本選



エアピストル男女決勝



エアライフル男子決勝



エアライフル女子決勝

RESULTS

AR M

1位	パク・ハジュン (KOR)	633.4	252.3
2位	キム・サンド (KOR)	627.0	247.6
3位	岡田 直也 (ALSOK)	627.5	226.5
本選通過点数：1位 633.4、8位 616.3			

AR W

1位	バン・ヒョジン (KOR)	252.5	630.0
2位	クォン・ウンジ (KOR)	251.4	633.9
3位	村田 薫美 (同志社大学)	229.4	620.5
本選通過点数：1位 633.9、8位 619.5			

AP MW

1位	黒木 進太郎 (鹿児島県ラ)	561-11x	234.1
2位	山田 聡子 (自衛隊体育学校)	568-8x	233.5
3位	財津 美加 (大分県警察)	560-15x	213.2
本選通過点数：1位 571-19x、8位 559-11x			

※名前横の点数は本選、ファイナルの順です

総評

今回、大分県協会と日本ライフル射撃協会の共催という形で日韓親善試合が実現しました。日本からは52名の選手が出場。韓国ナショナルチームからはライフルのキム・サンド選手、パク・ハジュン選手、クォン・ウンジ選手、バン・ヒョジン選手、ピストルのヤン・ジン選手の5名が来日、出場しました。韓国のライフル選手には本射、ファイナルともに迫力を感じましたし、ピストルの選手は現在の得意種目は25mのようですが、試合内容が不甲斐なかったのか、試合後涙を流している姿が印象的でした。世界最高峰の選手たちの息遣いを至近距離で見られたことは、今後の私たちの糧になると確信しております。

H&N Cup 大会

開催地：ミュンヘン 1972 オリンピック射撃場（ドイツ・ミュンヘン）
 開催日：1月21日（火）～26日（日）
 報告者：松田 知幸／選手強化コーチ

RESULTS (大会成績)

ARM

1日目

1位	ネペシャル・フィリップ (CZE)	633.3	252.8
2位	ペニ・イシュトバーン (HUN)	633.9	251.5
3位	コゼニエスキ・ルーカス (USA)	631.7	230.4
本選通過点数：1位 633.9、8位 631.3			
71位	篠原 章宏 (マス・サンファーム)	622.3	

2日目

1位	ソラツオ・D・デニス (ITA)	632.0	252.2
2位	ヘッグ・ヨン-ヘルマン (NOR)	633.3	250.4
3位	ポナツィ・エドアルド (ITA)	632.0	229.5
本選通過点数：1位 633.3、8位 631.1			
73位	篠原 章宏 (マス・サンファーム)	621.0	

ARW

1日目

1位	エルプロット・マノン (FRA)	631.2	253.5
2位	ピョートルフスカ・ユリア (POL)	631.4	252.2
3位	ヤンセン・アンナ (GER)	632.1	231.1
本選通過点数：1位 634.1、8位 631.2			
13位	野畑 美咲 (明治大学)	630.4	
50位	泰地 陽詩 (明治大学)	626.1	

2日目

1位	ハブラン・アレクサンドラ (SRB)	635.0	250.0
2位	ブラジコバ・ヴェロニカ (CZE)	631.2	248.7
3位	デュエスタッド・ヘッグ (NOR)	631.1	228.6
4位	野畑 美咲 (明治大学)	633.7	207.4
本選通過点数：1位 635.0、8位 631.1			
58位	泰地 陽詩 (明治大学)	624.5	

APM

1日目

1位	ドンコフ・サムイル (BUL)	580	242.6
2位	ディケチ・ユスフ (TUR)	581	242.4
3位	アリストアルホフ・アントン (AIN)	581	222.7
本選通過点数：1位 585、8位 581			
40位	岩佐 正貴 (自衛隊体育学校)	571	

2日目

1位	アリストアルホフ・アントン (AIN)	585	246.4
2位	セリンザテ・ブグラ (TUR)	580	244.7
3位	リッツ・クリスチャン (GER)	584	221.3
本選通過点数：1位 589、8位 580			
23位	岩佐 正貴 (自衛隊体育学校)	575	

APW

1日目

1位	アルノヴィッチ・ゾラナ (SRB)	582	239.4
2位	ファビアン・サーラ (HUN)	577	238.3
3位	エニーナ・イアナ (AIN)	580	217.5
本選通過点数：1位 582、8位 574			
28位	山田 聡子 (自衛隊体育学校)	567	

2日目

1位	アルノヴィッチ・ゾラナ (SRB)	580	245.4
2位	ジェドレジェフスキ・カミーユ (FRA)	573	239.4
3位	テ・シュウ・ホン (SGP)	575	217.6
本選通過点数：1位 580、8位 573点			
20位	山田 聡子 (自衛隊体育学校)	569	



左から山田聡子選手、泰地陽詩選手、中央篠原章宏選手、岩佐正貴選手、野畑美咲選手



中央 野畑美咲選手 (10mエア・ライフル本選の様子)

Athlete Voice

野畑 美咲 選手

最近ファイナルに対して苦手意識があり、その苦手意識をなくす方法は試合本番しかないと思っており、2025年最初の試合で強気で行こうと臨んだ試合でした。途中から一気に深い点数を出すことができようになり、4位という結果に終わりました。始めから深い点数を出すことができなかったことは反省すべき点ですが、持ち直すことができたことは、よい点だったと振り返ります。

普段まったく褒めないウーヨンコーチからも「うまくやった」と褒められました。この試合を機に今年度すべての世界大会で決勝進出、メダル獲得を狙っていきたいと考えております。

総評

2025年シーズンの開幕戦として位置するH&N Cupは、ヨーロッパ諸国に限らず近年では世界中の国が参加するエア一種目のみの大会で、すべての種目においてレベルが高く、W杯に引けをとらない大会であった。

エア・ライフルでは、パリオリンピック出場の野畑選手が633.7点の本人が持つ日本記録に並ぶ高得点を撃ち、本選2位で決勝に進んだ。結果4位とメダルにあと1歩と残念であったが、最近の急成長に、さらに磨きがかかった。他の選手にあって決勝には進めなかったが、レベルの高い試合を経験し、それぞれのモチベーションが高まり、今後の成長に期待が持てると感じた大会であった。

W杯よりも規模は小さい大会ではあるがレベルは高く、このような大会に出場する経験はとても重要で、選手たちの今後の成長に期待したい。

APMix

1位	トルコ1	580
	(タルハン S イルダ 287 / ディケチ・ユスフ 293)	
2位	ウクライナ1	577
	(コステビッチ・オレナ 288 / オメルチュク・オレフ 289)	
3位	フランス1	575
	(ジェドレジェフスキ・カミーユ 287 / モッコ・テオ 288)	
30位	日本	558
	(山田 聡子 277 / 岩佐 正貴 281)	

ASC アジアンカップ バンコク大会

開催地：バンコク射撃場（タイ）
 開催日：2025年2月9日～22日
 報告者：佐橋 朋木／選手強化委員長



松田知幸コーチと陸未来選手



岡田直也選手



武内響選手



代表選手団

RESULTS

※表記している点数は本選点数、ファイナル点数

ARM

1位	岡田 直也 (ALSOK)	624.1	251.2
2位	サトバエフ・イスラム (KAZ)	631.5	249.8
3位	ウォン・ゼン・J・ライオネル (SGP)	629.8	228.5
本選通過点数 1位 631.5 8位 623.6			
9位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	624.0	RPO
18位	島田 敦 (自衛隊体育学校)	622.1	
26位	関口 慈英 (明治大学)	619.1	

ARW

1位	バク・ハヒヤギ (KOR)	627.8	251.7
2位	クォン・ウンジ (KOR)	632.6	250.5
3位	LEアレクサンドラ (KAZ)	628.1	226.9
6位	野畑 美咲 (明治大学)	629.3	
8位	泰地 陽詩 (明治大学)	629.1	
本選通過点数 1位 632.6 8位 628.1			
22位	堀之内 愛 (自衛隊体育学校)	622.8	
23位	平田 しおり (ALSOK)	622.8	RPO
24位	清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	622.3	RPO

APM

1位	リム・リュウ・ソン (PRK)	585 x 16	239.9
2位	ラヒムザン・バレリー (KAZ)	576 x 18	235.8
3位	ファム・グアン・フィ (VIE)	579 x 17	216.9
7位	岩佐 正貴 (自衛隊体育学校)	579 x 23	
本選通過点数 1位 585 8位 576			
13位	中山 惇之丞 (岡山県)	574 x 15	

APW

1位	スル・S・N・B・M・アフィ (MAS)	569 x 14	239.3
2位	チェン・イェンチン (KAZ)	576 x 18	235.8
3位	トリン・トゥ・ヴィン (VIE)	578 x 20	215.9
6位	折谷 未来 (新潟県警)	570x14	
本選通過点数 1位 578 8位 569			
28位	阿部 花論 (高知県)	562 x 12	
34位	財津 美加 (大分県警)	560 x 11	
38位	佐々木 唯乃 (福岡県警)	553 x 8	RPO

R3PM

1位	マリノスキー・コンスタンティン (KAZ)	583 x 22	457.4
2位	マルコフ・ユリイ (KAZ)	578 x 29	456.4
3位	岡田 直也 (ALSOK)	584 x 27	442.8
5位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	579 x 23	
本選通過点数 1位 584 8位 575			
9位	関口 慈英 (明治大学)	578 x 17	RPO
14位	島田 敦 (自衛隊体育学校)	73 x 21	

R3PW

1位	LEアレクサンドラ (KAZ)	586 x 25	463.2
2位	ベズルコバ・イェリザベータ (KAZ)	582 x 31	462.1
3位	ディヤニサ・A・ザーラ (INA)	582 x 23	447.8
本選通過点数 1位 586 8位 580			
堀之内愛 (自衛隊体育学校)	4位	584 x 20	
平田しおり (ALSOK)	5位	586 x 31	
野畑 美咲 (明治大学)	本選1位	588 x 33	RPO
清水 綾乃 (自衛隊体育学校)		19位575 x 24	

RFP

1位	ユン・ソヨン (KOR)	578 x 14	31
2位	チリュウキン・ニキータ (KAZ)	582 x 13	28
3位	ハ・ミン・タイン (VIE)	585 x 22	25
本選通過点数 1位 585 6位 576			
武内 響 (自衛隊体育学校)	4位	579 x 13	
吉岡 大 (京都府警察)	11位	570 x 8	
岩田 泰輝 (兵庫県警)	15位	565 x 12	

SP

1位	アザハリ・アリア・サザナ (MAS)	583 x 18	44
2位	イ・シユン (KOR)	587 x 18	32
3位	テ・シウイー (SGP)	580 x 15	28
本選通過点数 1位 588 8位 576			
財津 美加 (大分県警察)	11位	575 x 21	
佐々木唯乃 (福岡県警察)	25位	566 x 14	

総評

今大会は22か国のアジアの国と地域281名が参加しました。中国とインドは不参加でしたが、多くの選手が集まった試合でした。

メダル獲得は金メダルが岡田直也選手の1個、銀6個、銅4個の11個となりました。総メダル数では3位タイではありますが、金メダルが少ないことでメダル順位は8位となっています。Finalに進出した選手は10名、ミックスチームでブロンズメダルマッチ進出と国際大会でのファイナルに多く出場できたことはチームとしても次につながるものであった。選手もファイナルで学ぶことが多くありました。

また、今回カザフスタンがジュニアも含めて多くの選手団で参加。メダル獲得も25個で1位となり、国として非常に力を入れていると感じました。

1st ALL JAPAN FINAL CUP

開催地：ピストル：自衛隊体育学校射撃場
 ライフル：HPSC NTC 屋内トレーニングセンター・イースト射撃場
 開催日：3月8日（土）～16日（日）
 報告者：深澤 佑樹／競技運営委員会競技企画部会



実況岡田氏・解説溝部氏



オンライン配信チーム



RESULTS

AP

- 1位 金坂 春杜（自衛隊体育学校） 237.8
- 2位 中山 惇之丞（岡山商科大学） 236.6
- 3位 岩佐 正貴（自衛隊体育学校） 217.1
- 本選通過点数：1位 580 x25、8位 566 x14

RFP

- 1位 吉岡 大（京都府警察） 32
- 2位 武内 響（自衛隊体育学校） 27
- 3位 市川 広義（警視庁） 18
- 本選通過点数：1位 575 x16、6位 567 x20

SP FINAL

- 1位 佐々木 千鶴（岩手県警察） 35 NR
- 2位 財津 美加（大分県警察） 29
- 3位 星野 優奈（警視庁） 22
- 本選通過点数：1位 576 x15、8位 562 x10

AR

- 1位 泰地 陽詩（明治大学） 250.4
- 2位 岡田 直也（ALSOK） 248.9
- 3位 石田 純葵（済美高校） 228.9
- 本選通過点数：1位 630.6、8位 625.5

R3P

- 1位 平田 しおり（総合警備保障株式会社） 464.6 NR
- 2位 堀之内 愛（自衛隊体育学校） 461.1
- 3位 島田 敦（自衛隊体育学校） 448.2
- 本選通過点数：1位 594-35X、8位 583-31X

Athlete Voice

かねさか はると 金坂 春杜 選手

G1で初個人タイトルを獲得できて本当に嬉しく思います。RFPからAP一本に専念するようになってから、よりよい射撃ができるよう練習内容を見直し、やっと結果が着実に出てきたと実感できる大会となりました。また今回は、自衛隊体育学校の射撃場で初めて開催された大会だったので、必ず優勝を勝ち取りたいという信念を持って試合に臨みました。プレッシャーを感じながら撃てたことはメンタルの成長につながったと思います。ただ、基準点というところではまだまだ到達していないのでこの結果に甘えることなくより一層練習に励み、さらなる射撃技術向上を目指します。

よしおか だい 吉岡 大 選手

第1回大会で優勝できたことは、今後何大会も積み重ねようが初代チャンピオンであることは変わらないので本当に嬉しいです。

さて、以前、私が「筋トレしましょう」とライフルスポーツに掲載していただきましたが、みなさん覚えておいででしょうか？ ライフル種目のことは正直まったく知らないの、岡田（直也）氏に聞いてください（笑）。ただ、ピストル種目をやる人は必ずなんでもいので筋トレを始めましょう。あっ、今この記事読みましたね？ はい、「腕立てよーい！」とりあえず100回はじめ！

ささき ちづる 佐々木 千鶴 選手

25mSP記念すべき第1回大会において、初代チャンピオンになることができました。ファイナルが終わってみると、日本新記録での優勝。射撃人生で、こんなにも刺激的なことはありません。自衛隊体育学校の素晴らしい射撃場で、開催されたことに感謝申し上げます。日本記録、また私が更新したいと思います。

ひらた 平田 しおり 選手

初代チャンピオンを獲れたのは、とても光栄で嬉しいです。本戦もファイナルも納得いくところ、いかないところ、それぞれありましたが、結果としては、満足しています。新しく課題とすることも試合のなかで見つけたので、着実にこれからも成長していきたいと思っています。

たいち ひなた 泰地 陽詩 選手

この度は優勝することができ、たいへん嬉しく思っております。本選では緊張から思うように撃つことができず、練習の成果を出すことができませんでした。しかし、ファイナルでは本選の反省を活かし、練習どおりの撃ち方を意識して臨むことができました。僅かな点差や同点で緊迫した雰囲気が続きましたが、周りに吞まれず、コーチの言葉やこれまでの練習を思い出し自分を信じて撃ちました。最後まで気を緩めずに撃ち続けた結果、優勝を掴み取ることができ、本当に嬉しく思っています。応援してくださった方々や家族の支えがあったからこそ優勝することができました。恩返しができ嬉しく思います。この経験を励みに、今後もより一層努力し続けたいと思います。



AP 中山惇之丞選手 金坂春杜選手 岩佐正貴選手



RFP 市川広義選手 吉岡大選手 武内響選手



SP 財津美加選手 佐々木千鶴選手 星野優奈選手



AR 岡田直也選手 泰地陽詩選手 石田純英選手

総評

ALL JAPAN FINAL CUP は、ISSF のワールドカップファイナルのように、日本における最高峰の試合として位置づけ、今回が初開催となりました。通常、決勝戦は男女別々に行われますが、本大会は日本最高峰の戦いであることから男女混合で実施し、年間の真の日本一を決定する大会となります。本大会の開催にあたり、自衛隊体育学校のご協力のもと、全5種目を無事開催できましたことに心より感謝申し上げます。

競技結果では、SP 種目において佐々木千鶴選手（岩手県警察）が、2021年に佐藤明子選手（警視庁）が記録した33HITを2HIT更新する35HITの日本新記録を樹立し、見事優勝を果たしました。

また、R3P 種目では平田しおり選手（ALSOK）が、2022年に自身が記録した463.8点を0.8点更新し、464.6点で優勝しました。さらに、AR 種目の決勝戦では、最後までハラハラの展開で手に汗握る展開でした。試合の様子は、協会の公式YouTubeチャンネルでご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。



R3P 堀之内愛選手 平田しおり選手 島田敦選手

令和6年度 第7回ミックス・チームライフル射撃競技選手権大会

開催地：能勢ライフル射撃場（大阪府）
 開催日：2月21日（金）～24日（月祝）
 報告者：出来 可也／コンペティションマネージャー



RTS室の窓から望む雪化粧



ARミックスチャンピオン岡田・平田ペア。くす玉割ってご満悦



左から2位小関・鈴木ペア、1位岡田・平田ペア、3位一ノ渡・千葉ペア



APチーム表彰模様、学生チームが本年度の選手権保持者に



50m3×20 チーム表彰の模様



極寒の中での50mチーム戦

RESULTS

AR チーム ※ファイナルなし

- 1位 遠藤・岡田・篠原チーム 1886.0点 日本新記録
 (遠藤雅也・岐阜／岡田直也・岡山／篠原章宏・福井)
- 2位 石田・岡田・野村チーム 1867.1
 (石田紬葵・岐阜／岡田美月・立命館第／野村奈生・同志社大)
- 3位 一ノ渡・千葉・中口チーム 1865.5
 (一ノ渡桜・神奈川／千葉朔海・千葉／中口遥・滋賀)

AP チーム ※ファイナルなし

- 1位 内田・中山・森田チーム 1684X39
 (内田翼・同志社大／中山惇之丞・岡山商科大／森田馨介・関西学院大)
- 2位 岩佐・金坂・山田チーム 1684X35
 (岩佐正貴・埼玉／金坂春杜・埼玉／山田聡子・埼玉)
- 3位 相澤・蟹江・星野チーム 1683
 (相澤ひかる・東京／蟹江良平・東京／星野優奈・東京)

50m3 × 20 チーム

- 1位 岡田・篠原・三島チーム 1735X75
 (岡田直也・岡山／篠原章宏・福井／三島裕介・東京)
- 2位 小関・島田・花川チーム 1735X74
 (小関賢登・埼玉／島田敦・埼玉／花川直樹・埼玉)
- 3位 池邊・大塩・山本チーム 1730
 (池邊龍平・三重／大塩勇斗・福井／山本拓生・三重)

AP MIX

- 1位 岩佐 正貴・山田 聡子ペア (埼玉県)
- 2位 金坂 春杜・小柳 勇生ペア (埼玉県)
- 3位 相澤ひかる・蟹江 良平ペア (東京都)

AR MIX

- 1位 岡田 直也・平田しおりペア (岡山県 石川県)
- 2位 小関 賢登・鈴木 志佳ペア (埼玉県)
- 3位 一ノ渡 桜・千葉 朔海ペア (神奈川県 千葉県)

総評

今回は2月後半と非常に寒いなかでの大会となりました。日々、朝は氷点下を記録し選手自身もコンディション調整がかなり難しいものとなったでしょう。しかし、ARチーム戦では遠藤・岡田・篠原チームが日本新記録をマークするなど、高水準な戦いとなりました。APチーム戦は若い大学生で構成された内田・中山・森田チームが埼玉県を同点ながら、X点の差でかわし優勝。50m3x20も岡田・篠原、三島チーム

Athlete Voice

かげやま たくろう 景山 拓朗 選手

「寒かったですね…。パラの辻尾さんとAR団体・MIXを組み、SBは平均年齢51歳のチームを組みました。荒本さんは66歳とは思えない若い風貌ですが久しぶりに3姿勢の練習をしてまた若返りました。富本さんも全日本レベルの大会は約10年ぶりで輝いていました。年齢や障害に関わらず競技を続けていればどこかでチャンスが回ってくるはず。特に高校生や大学生のみなさんには、ぜひ卒業後も続けてほしいなと思います」

うちだ つばさ なかやまじゅんのすけ もりた けいすけ 内田 翼・中山惇之丞・森田 馨介 チーム (大学生チーム)

「同い年2人と組んで、ジュニア日本新を狙ってました。2人のおかげで1位が取れました。2人とはライバル関係でもありますが、チームでもあるので次こそジュニア日本新を！」(内田)「2射群で撃ちましたが、とにかく寒かったです。ジュニア日本新はとれませんでした。結果が残せてよかったです。仲間たちと撃てたことに感謝します」(中山)「チームの大トリとして撃ちました。射場が寒くて安定しませんでした。1位をとれてよかったです。次はジュニア日本新記録をとり、またこの3人で優勝したいです(森田)」

おかだ なおや 岡田 直也 選手

「射撃を始めた地、能勢で全種目優勝できたことを嬉しく思います。SB種目では雪が降るなか、厳しい場面もありました。選手としてはもう少し暖かい時期に試合があると嬉しいです。バンコクの35度から能勢の5度、サウナから水風呂といった感じで整った試合になったと思います」

が2位の小関・島田・花川チームと同点ながら、X点の数75対74で大接戦を制しました。またAR銅メダルマッチの一ノ渡・千葉ペアと遠藤・田邊ペアの戦いも一時15ポイント対15ポイントと並び会場を大いに沸かせるなど試合の内容は熱い戦いでした。石田・高岡ペアはARミックスでジュニア日本新記録をマーク。5位でメダルマッチには出られませんでした。今後が期待できると感じました。

ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう！

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は3.0kgと軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バルンサー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔製造・発売元〕

=KOTO= 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

http://www.kohto.co.jp E-mail: info@kohto.co.jp

2024年度(第44回) 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

開催地：茨城県営ライフル射撃場（茨城県）
 開催日：3月21日（金）～23日（日）
 報告者：小野 雅央／全国選抜大会事務局



BPM 左から、永田、神池、一瀬



BPW 左から、有本、平沢、田上



BRM 左から、秦、富松、関



BRW 左から、秋吉、澤山、堀江



ARM 左から、山本、野口、半谷



ARW 左から、吉野、石田、西谷

RESULTS

AR60

1位	野口 雄吏（佐賀北／佐賀）	241.0
2位	山本 零侍（太平洋学園／高知）	239.3
3位	半谷 悠（国際学院／埼玉）	219.7

AR60W

1位	石田 紬葵（済美／岐阜）	245.8
2位	吉野 百美（英理女子学院／神奈川）	243.6
3位	西谷 愛実（小松島西勝浦／徳島）	223.9

BR60

1位	富松 利信（済美／岐阜）	247.1
2位	秦 鳳真路（由布／大分）	244.8
3位	関 壮一郎（国際学院／埼玉）	223.9

BR60W

1位	澤山 結菜（栄北／埼玉）	252.8
2位	秋吉 柚奈（由布／大分）	251.7
3位	堀江 ここ菜（城西／徳島）	230.7

BP60

1位	神池 凌羽（野田学園／山口）	232.3
2位	永田 伊吹（水口／滋賀）	230.8
3位	一瀬 蒼大（栄北／埼玉）	209.7

BP60W

1位	平沢 美織（栄北／埼玉）	227.0
2位	有本 雅歩（鳥取敬愛／鳥取）	225.4
3位	田上 華羽（長崎北／長崎）	208.0

大会新記録

堀江 ここ菜（城西／徳島） BR60JW 本選大会新 634.4

総評

令和7年3月21日～23日の3日間に渡り、第44回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会が茨城県営ライフル射撃場で実施されました。2019年の茨城国体に向けてリニューアルされた本県の射撃場を舞台に、BR60JWの本選大会新記録をはじめ、熱戦が繰り広げられました。今回、このように全国選抜大会を実施できたのは、全国各地からいらしてくださった先生方のご協力によるものです。この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

Athlete Voice

のぐち ゆうり
野口 雄吏（佐賀北／佐賀）

嬉しいのですが、本選とファイナルの得点が低かったのが悔しい気持ちもあります。今回、諸事情でコーチにファイナルを見せられなかったのが、コーチに一番に優勝の報告をしたいです。全国大会でも優勝できるように、毎日1時間の据銃と筋トレに励んでいきたいです。

いしだ つむぎ
石田 紬葵（済美／岐阜）

試射でアクシデントがあり、ファイナルの序盤は点数もよくなかったのですが、諦めずに真ん中をしっかりと撃つ気持ちで挑みました。5月にズールでの大会に参加するので、そこでも実績を残せるよう頑張りたいです。毎日の練習を積み重ね、合宿などで強い選手から学び、いまよりもさらに高い点数を出していきたいです。

とみまつ としのぶ
富松 利信（済美／岐阜）

「周りの人が助けてくれるので、大丈夫」と思って大会に臨み、顧問の先生のアドバイスや先輩の支えで優勝することができました。ファイナル中は、外した後ももう一度外さないように心がけました。次はエアライフルで金メダルをとりたいです。

さわやま ゆうな
澤山 結菜（栄北／埼玉）

優勝できてすごく嬉しいです。顧問の先生と両親に感謝の気持ちを伝えたいです。ファイナルは緊張しましたが、みんなの応援でポジティブになりました。部活の先輩にファイナルの練習をしてもらっていたので、それが本番でも活きました。関東・全国大会では、エアライフル団体優勝を目指したいです。

こういけ りょう
神池 凌羽（野田学園／山口）

本戦5・6シリーズがあまりよくなかったのが、夏の選手権大会ではすべて90点を出したいです。全国レベルの大会は初めてだったので、ファイナルはものすごく緊張しましたが、家族や親戚も応援に来てくれたので、それが力になりました。今後はエアピストルでも頑張っていきたいです。

ひらさわ みおり
平沢 美織（栄北／埼玉）

とても嬉しい気持ちでいっぱいです。両親と先生・コーチに感謝の気持ちを伝えたいです。今後は自分の課題を見つけ、さらに上を目指し、夏の選手権大会ではBP・APともに優勝できるように頑張っていきたいです。

2025年度国内大会スケジュール

全日本・一般

日程	G	大会名	開催地
5月16-18日	G 1	第 51 回全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (300m) (男女混合共生大会)	埼玉県長瀬町
6月20-22日	G 2	第 55 回東日本スポーツ射撃競技選手権大会	神奈川県伊勢原市
//	//	第 55 回西日本スポーツ射撃競技選手権大会	熊本県益城町
7月19-21日	G 1	全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (BR/BP) (男女混合オリパラ共生大会)	宮城県石巻市
9月5-7日	G 2	全日本社会人スポーツ射撃競技選手権大会	青森県弘前市
//	//	全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会	青森県青森市
10月4-7日	G 1	国民スポーツ大会 (ライフル射撃)	大阪府能勢町
10月17-19日	G 1	全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (センターファイアピストル)	広島県安芸太田町
10月31-11月3日	G 1	全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (10mAR・AP/50mR) (男女混合オリパラ共生大会)	宮城県石巻市
11月23-24日	G 2	第 48 回全日本前装銃射撃競技選手権大会	千葉県千葉市
11月23-24日	G 1	全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (50m ピストル)	埼玉県長瀬町
12月4-7日	G 1	全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (25m) 兼 強化指定選手選考記録会	東京都北区
2026 年			
1月23-28日	G 1	ALL JAPAN FINAL CUP (10mAR・AP/50mR/25mSP/RFP) 兼 強化指定選手選考記録会 (男女混合オリパラ共生大会)	東京都北区
2月20-23日	G 1	第 9 回全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会 (10mAR・AP/50mR) (男女混合オリパラ共生大会)	大阪府能勢町

学生大会

日程	G	大会名	開催地
6月6-8日	G 2	第 29 回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	大阪府能勢町
7月28-31日	G 2	第 3 回全国高校生スポーツ射撃選手権大会 (AP/BP)	広島県安芸太田市
//	//	第 63 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	//
9月5-7日	G 2	全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	青森県弘前市
9月13-15日	G 2	JOC ジュニアオリンピックカップ 兼 第 35 回 ISSF ジュニアスポーツ射撃競技選手権大会	埼玉県長瀬町
10月23-26日	G 2	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第 72 回男子総合 / 第 38 回女子総合	栃木県宇都宮市
12月20-21日	G 2	第 12 回全日本小中学生スポーツ射撃競技選手権大会 (男女混合オリパラ共生大会) 兼 強化指定選手選考記録会	東京都北区
2026 年			
3月20-22日	G 2	第 45 回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	高知県高知市

パラ射撃

日程	大会名	開催地
10月10-13日	G 2 第 37 回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会 (男女混合オリパラ共生大会)	大分県由布市

2025 年国際大会

日程	G	大会名	開催地
4月1-11日		ISSF World Cup Rifle/Pistol/Shotgun	アルゼンチン
4月13-22日		ISSF World Cup Rifle/Pistol/Shotgun	ペルー
5月19-29日		ISSF Junior World Cup Rifle / Pistol / Shotgun	ドイツ
6月7-15日		ISSF World Cup Rifle/Pistol/Shotgun	ドイツ
8月16-30日		第 16 回アジア選手権大会	カザフスタン
9月13-21日		ISSF World Cup Rifle/Pistol	中国
11月6-16日		ISSF World Championship Rifle/Pistol	エジプト
11月15-25日		第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025	東京都
調整中		東アジアユースエアガン大会	韓国
2026 年			
1月13-18日		ISSF Grand Prix 10m	スロベニア
1月20-25日		H&N Cup	ドイツ
2月2-14日		Asian Rifle/Pistol Cup 2026	インド

強化指定選手の

2025年4月1日付

紹介

ライフル Rifle

略語について

AR……10M エアライフル
R3P……50M ライフル 3 姿勢

R3P

大塩 勇斗

オオシオ・ハヤト



生年月日 2001/9/4
出身地 福井県福井市
所属 福井村田製作所
23 アジア選手権出場

AR

遠藤 雅也

エンドウ・マサヤ



生年月日 1998/2/16
出身地 岐阜県美濃市
所属 名阪急配
17 ジュニア世界選手権優勝、
23 アジア大会出場

AR

石田 紬葵

イシダ・ソムギ



生年月日 2007/11/2
出身地 岐阜県岐阜市
所属 済美高校 3年
24 佐賀国スポ優勝 (BR)

R3P

清水 綾乃

シミズ・アヤノ



生年月日 1990/11/18
出身地 岐阜県岐阜市
所属 自衛隊体育学校
23 世界選手権出場

R3P

清水 彰人

シミズ・アキヒト



生年月日 1999/4/28
出身地 徳島県鳴門市
所属 徳島県ライフル射撃連盟
23 アジア大会出場

AR

島田 敦

シマダ・アツシ



生年月日 1998/7/20
出身地 埼玉県上尾市
所属 自衛隊体育学校
23 世界選手権出場

AR

嘉部 恋

カベ・レン



生年月日 2004/11/29
出身地 埼玉県所沢市
所属 立教大学 3年

AR

岡田 直也

オカダ・ナオヤ



生年月日 1990/10/10
出身地 岡山県津山市
所属 ALSOK
16 リオデジャネイロ・20 東京・24 パリ出場

AR

花川 直樹

ハナカワ・ナオキ



生年月日 1998/7/8
出身地 兵庫県伊丹市
所属 自衛隊体育学校
22 世界選手権出場

AR

野畑 美咲

ノバタ・ミサキ



生年月日 2003/8/25
出身地 大分県大分市
所属 明治大学 4年
24 パリ出場

R3P

千葉 朔海

チバ・サクミ



生年月日 1997/1/30
出身地 千葉県柏市
所属 日立ビルシステム
22 世界選手権出場

AR

高岡 優介

タカオカ・ユウスケ



生年月日 2006/9/21
出身地 愛知県名古屋
所属 明治大学 1年

AR

泰地 陽詩

タイチ・ヒナタ



生年月日 2005/7/13
出身地 徳島県徳島市
所属 明治大学 2年
24 佐賀国スポ 4位

R3P

堀之内 愛

ホリノウチ・アイ



生年月日 2000/6/19
出身地 徳島県小松島市
所属 自衛隊体育学校
23 アジア選手権出場

R3P

平田 しおり

ヒラタ・シオリ



生年月日 1999/11/6
出身地 石川県能美市
所属 ALSOK
20 東京出場



RFP

飯村 嘉一

イムラ・ヨシカズ



生年月日 1983/8/30
出身地 千葉県船橋市
所属 警視庁
24 アジア選手権出場

RFP

市川 広義

イチカワ・ヒロヨシ



生年月日 1982/11/4
出身地 静岡県三島市
所属 警視庁
23 世界選手権出場

AP

相澤 ひかる

アイザワ・ヒカル



生年月日 1990/6/11
出身地 北海道勇払郡
所属 警視庁
23 世界選手権出場

ピストル

Pistol

略語について

AP……10M エアピストル
SP……25M ピストル (女子)
RFP……25M ラビッドファイアピストル (男子)

SP

小西 ゆかり

コニシ・ユカリ



生年月日 1979/1/11
出身地 北海道二世部
所属 飛鳥交通(株)
04 アテネ・12 ロンドン出場

AP

陸 未来

クガ・ミキ



生年月日 1994/1/12
出身地 新潟県南魚沼市
所属 新潟県警察
23 アジア選手権出場

AP

金坂 春杜

カネサカ・ハルト



生年月日 1994/1/28
出身地 千葉県茂原市
所属 陸上自衛隊
23 世界選手権出場

RFP

岩田 泰輝

イワタ・ヒロキ



生年月日 1997/11/5
出身地 兵庫県神戸市
所属 兵庫県警察
24 アジア選手権出場

AP

岩佐 正貴

イワサ・マサキ



生年月日 2002/2/8
出身地 徳島県阿南市
所属 自衛隊体育学校
24 アジア選手権出場

AP

中山 惇之丞

ナカヤマ・ジュンノスケ



生年月日 2005/8/1
出身地 岡山県高梁市
岡山商科大学 2年
24 佐賀国スポ優勝

AP

中川 花論

ナカガワ・カロン



生年月日 2005/4/4
出身地 高知県南国市
自衛隊体育学校
24 佐賀国スポ優勝

RFP

武内 響

タケウチ・ヒビキ



生年月日 1997/4/11
出身地 北海道札幌市
自衛隊体育学校
23 世界選手権出場

SP

財津 美加

サイツ・ミカ



生年月日 1992/5/24
出身地 大分県日田市
所属 大分県警察
23 アジア大会出場

AP

佐々木 千鶴

ササキ・チヅル



生年月日 1985/12/2
出身地 岩手県盛岡市
所属 岩手県警察
20 東京出場

RFP

吉岡 大

ヨシオカ・ダイ



生年月日 1985/12/14
出身地 京都府長岡京市
所属 京都府警察
20 東京・24 パリ出場

AP

山田 聡子

ヤマダ・サトコ



生年月日 1995/2/26
出身地 滋賀県甲賀市
所属 自衛隊体育学校
20 東京出場

AP

森田 馨介

モリタ・ケイスケ



生年月日 2005/7/14
出身地 茨城県つくば市
所属 関西学院大学 2年

AP

森川 清司

モリカワ・セイジ



生年月日 1984/4/20
出身地 島根県広島市
所属 広島県警察
23 世界選手権出場

SP

星野 優奈

ホシノ・ユウナ



生年月日 1995/6/22
出身地 千葉県習志野市
所属 警視庁
24 アジア選手権出場



パラ射撃

ParaShooting

略語について

R1……エアライフル男子立射 SH1
R3……エアライフル伏射混合 SH1
R5……エアライフル伏射混合 SH2
R6……ライフル伏射混合 SH1
R7……ライフル3姿勢男子 SH1

R5

瀬賀 亜希子

セガ・アキコ



生年月日 1965/10/12

出身地 東京都三鷹市

04 アテネ8位、12 ロンドン・16 リオデジャネイロ・24 パリ出場

R3

片山 友子

カタヤマ・トモコ



生年月日 1977/9/3

出身地 大阪府

所属 (株) ベリサーブ

R1 R6

岡田 和也

オカダ・カズヤ



生年月日 1969/10/30

出身地 三重県津市

所属 ウッドストック
24 パリ出場

R1 R6

渡邊 裕介

ワタナベ・ユウスケ



生年月日 1975/8/14

出身地 広島県府中市

所属 渡辺石灰

R1 R6 R7

望月 貴裕

モチツキ・タカヒロ



生年月日 1987/6/18

出身地 三重県

所属 中部電力ミライズ (株)

R5

水田 光夏

ミズタ・ミカ



生年月日 1997/8/27

出身地 東京都町田市

所属 白寿生科学研究所
20 東京出場、24 パリ3位

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

新学期が始まりました。今回の未来人は、近年頭角を現し、シニアたちのなかでも堂々の活躍を見せている大学生・中山惇之丞選手、エリートアカデミー最終学年を迎える阿部暁梨沙選手、アカデミーで後輩の誕生を心待ちにしている川村悠夏選手です。それぞれの現在の心境を聞かせていただきます。

ロスへ向け、より高みを目指して

中山惇之丞

(岡山商科大学2年/ピストル)



昨年暮れ、パリオリンピック銀メダリストのユスフ・ディケチ選手（トルコ）が出場した日本トルコ親善射撃競技大会で優勝することができました。このとき実は松田（知幸）コーチに呼ばれ、ディケチ選手に「次のオリンピックに出るから」というようなニュアンスで紹介していただきました。そのときまでオリンピックには出たいと思っていましたが、特に次のロサンゼルスということは考えていませんでした。でもこのとき、ディケチ選手が28年ロス大会で引退すると知り、ディケチ選手と同じロスの舞台に立ちたい、そこでディケチ選手に勝ちたいといまはそう考えています。

私がそもそも射撃を始めたのは高校生になってからで、本格的にやっというところまで来たのは3年生にあがってからになります。2年生で選抜大会に出場してから射撃を将来的に続けていくことを真剣に考えるようになり、大学進学を決めました。岡山商科大学に決めたのは、地元で自宅から通いやすいことと、練習環境が整っていたからです。大学1年の1月にエアピストルの許可を取ってエアを始め、エア初出場となる佐賀国スポで初優勝することができました。周囲の人からは「成長曲線がバグってる」と言われることもあります(笑)、これは現在の環境のよさと、応援してくださる方たちのおかげだと思っています。また、同年代に内田翼選手(同志社大学)、森田馨介選手(関西学院大学)などができることも大きいかと思っています。彼らとどうにか肩を並べられるところまで来ることができ、いまでは対等なライバル関係になれたかなと思っています。

今年の目標は安定して580点台を出すこと。ランキング上位にいる森川清司選手(広島県警)、岩佐正貴選手(自衛隊体育学校)に並べられる点数を目指していきます。



自分のペースがつかめた1年 今年はいよいよ高い点数を目指す

川村 悠夏

(17期生/ライフル)



昨年はまったく異なる環境に入り、日々練習と生活でいっぱい一杯になってきました。少し気持ちに余裕ができてきたと感じ始めたのは、夏に入った頃からです。それまでも、毎日学校から帰ってくるとすぐに着替えて射場で練習していたのですが、どこか気持ちに余裕がなくて、うまくない、強くなりた、っていう思いはあるのに、練習に集中しきれないようなところがありました。それが環境に慣れてからは、練習に集中することができています。土日も1日中練習できる素晴らしい環境のおかげで、入校前と比べるとすごく点数が伸びました。

昨年行われた佐賀国スポで地元のコーチに会ったのですが、「姿勢も点数も安定してきた」と言ってもらえて嬉

未来の OLYMPIAN オリンピックたち

連載 第8回

～射撃競技の明日を担う～

最終学年として、結果を出したい

阿部 曉梨沙
(16期生/ライフル)



高校生活2年目の昨年、インターハイや全国大会で結果を出すことができませんでした。日々の練習でもなかなかうまくいかないことが多く、自分のやりたい射撃ができないという気持ちを抱えていました。

ところが、今年に入ってから、大きく変わりました。手応えを感じることができるようになってきたのです。装備品がそろそろ買い替え時かなということもあり、ジャケットや銃など、道具を新しくしたところ、見直しをしていた姿勢が少しずつよくなっていることを感じたんです。それは単純に新しいものに変えたということではなく、1年のときからやってきた基礎練習、土台づくりが、新しいジャケットを得たことよって、しっかり身につけていることが実感できたということだと思います。また、冬期間にランクリスト

などの試合にたくさん出場し、経験を積みました。いままで試合になると練習どおりに打つことができなくなることも多くありましたが、少しずつ練習どおり再現できるようになり、自信につながりました。

4月からはよいよ最終学年になります。手応えを感じ始めて新しい学年を迎えることになるので、いま、試合をすることが楽しみといえますか、試合でどんな自分を表現できるのだろうか、とワクワクした気持ちでいます。

このよい状態を練習のなかでもっと増やしていきたい、試合で出せるようになるれば、ファイナル進出も実現できるはずです。なんとしても、3年生ではしっかり結果を出していきたいので、今年一番の目標はインターハイ優勝に置いています。

また、同時に、今年度がエリートアカデミーの最終学年でもあります。中学1年生から高校3年生まで幅広い年代、競技の選手たちがいるなかで、今年私は副キャプテンとなりました。射撃以外の部分、日常生活でもいろいろなところに気を配り、アカデミー全体で上を目指していけるよう努力していきます。

しかったです。

エリートアカデミーでは、キム・ウーヨンコーチから、「もつと高い目標を持って撃っていきなさい」ということと、これまで撃つペースがバラバラだったのですが、「安定したペースで撃つことを心がけなさい」と指導されました。自分では考えたことがなかったのですが、速いペースで撃つたほうが私に向いていると言われたんです。実践してみたところ、撃つ感覚が本当に安定してきて自分のペースがつかめるようになりました。点数的には620点を出せるようになってから、無意識のうちには620点出せたらいいと思っているようなところがあつたのですが、近頃はシリーズで104点を基準として、それ以上を目指すようにもなりました。

4月から2年生になり、先輩が二人入ってきます。これまで自分が一番年下ということが多かつたので、どうやって接したらいいかわからないのですが、困っているときに手を貸してあげられる先輩になりたいと思っています。射撃での今年の目標は国スポとインターハイでの優勝です。東アジアユースにもぜひ出場したいと思っています。



は じめまして、エリートアカデミー11期生、聖徳大学2年エアピストル種目の西田葵です。私は大学で栄養学を学んでいます。ありがたいことに今回こちらの記事を書く機会をいただきました。多くの方に少しでも食にまつわる興味を持っていただけるよう、まだ学びの途中ではありますが、日々の学びや体験をこれからみなさまと共有していきたいと思っています。

まず、私が栄養学の道へ進んだきっかけを紹介させていただきます。

私は元々、食ることが大好きで食に関するの興味が大きくありました。遠征の楽しみを聞かれたら、一つに美味しいご飯を食べられるというのを挙げますね。また、中高6年間所属していたJOCエリートアカデミーで日々の食事を管理栄養士さんにアドバイスをもらい、自分で内容や量の調節を行っていたので、管理栄養士という存在が身近にあったことも栄養学を専攻した一つの理由です。

射撃は他の競技と比べると全身を使った運動系でもなく、理想的な体重や体型が明

確になっていくわけでもないため、自分に向う食事スタイルを手探りで見つけなければいけないのが競技を行う上で大きな悩みの一つでした。

例えば、試合の3時間前には食事を済ませると血糖値の関係上よいという人もいますが、私の場合は3時間前に食事を済ませることで試合中にお腹が空いてしまい、逆に集中できなくなるということがありました。結果としては試合直前に他の多くの選手が試合モードに入っている中、干し芋を食べるというルーティーンに辿り着きました。

こうした経験から、悩みなどを解決し、選手一人ひとりに合った食事内容やタイミングなどを見つけるサポートをすることが今後の目標です。

大学生活が始まったこの1年間で、高校までとは比にならないほど多くのことを学びました。まだ得られたものは基礎知識程度ですが、特に食事の役割について今までは表面しか理解していなかったんだと感じました。食事から得た多くの栄養素は何かしらが体のすべての臓器に影響している、生命活動だけでも壮大な行程を踏んでいることを知ってからは、スポーツを行うにはもっと多くの栄養素や行程が必要だと考えると本当に食事は重要だと実感しています。

体における食事についても学びましたが、食べ物についてもたくさん知識を得ました。なぜ果物は冷めている方が甘いのか、なぜ魚の脂質は良い脂質なのかなど、知っているようで知らなかった食にまつわる知識を得たことで日々の食事が復習の場になり、今までとは違った形で楽しんでいます。

■ Meyton(マイトン) 電子標的システム



測定精度**1/10mm**を実現した
世界最高精度のシステム

192本の赤外線レーザーが交差することで全ての測定範囲において
1/10 mmの測定精度と
1/100mmの分解能を実現
し比類なき精度を実現。

Meyton(マイトン) 電子標的 導入射撃場 (順不同) :

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m,50m)、福井県立ライフル射撃場(10m,50m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原射撃場(10m,50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、茨城県菅野ライフル射撃場(10m,50m)、長野県中尾山射撃場(10m,50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m,50m)、荒川区総合スポーツセンター(10m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(10m,50m)、日本大学(10m,50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入

※メンテナンス (導入：國友銃砲火薬店様)：大阪府能勢町ライフル射撃場(10m,50m)、同志社大学(10m,50m)
國友銃砲火薬店様設置他射撃場につきましてもメンテナンスを行いますのでお気軽にお問い合わせください。

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社 / Noptel社 / Mantis社 / HoRa社 輸入代理店

New Model !!



上段：Model 900 Alu MESHPRO
下段：Model 900 Alu

Feinwerkbau GmbH Model 900 Alu

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または公式LINEまで！！

株式会社 銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

公式SNSで
お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



友達追加はこちら!!



ホームページより
カタログをダウンロード
できます。



ワルサー新型エアライフルLG500登場！

WALTHER

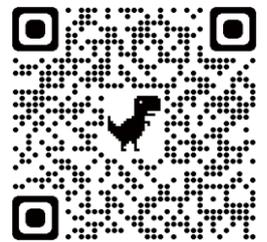
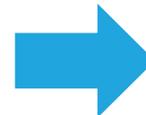
LG500 itec

TARGETED PERFECTION

最新バレルクランプ
により剛性が高まり
ました！

グリップ内臓型の最新
電子トリガー登場！
メカニカルから
ユニットのみの交換も
可能です！

公式X始めました！



Shooting World

MOST TRADITIONAL GUNSMITH IN JAPAN KUNITOMO CO., LTD. Since the 16th C.A.D.

(社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー

ワルサー社日本総代理店

株式会社 **國友銃砲火薬店**

TEL(075)351-3037 FAX(075)351-3041

〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入 國友ビル 3F

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp



NEWS BOARD

2025

APRIL

新システム導入に 関するお知らせ

日本ライフル射撃協会は、新たな会員管理システムを導入します。本システムは、協会の利便性向上と業務の効率化を目的としたサービスです。今回は、その導入背景や特徴についてご紹介いたします。

なぜ新システムを導入するのか？

これまでのシステムは、特定の会員向けの推薦申請機能に特化していま

た。しかし、射撃競技の普及と会員サービスの向上を目指すなかで、より包括的なプラットフォームが求められるようになってきました。

新システムでは、協会の業務効率化と会員サービスの充実を図るだけでなく、ライフルスポーツの裾野を広げることを目的としています。選手や関係者のみならず、家族やファンを含む「射撃ファミリー」のみなさまにとって、より便利で統一された環境を提供します。

旧システムとの違い

従来のシステムは、推薦銃に関わる会員の推薦申請をサポートすることが主な機能でした。一方、新システムは、射撃競技に関わるすべての人々が多様な用途で利用できるよう設計されています。

また、スマートフォンにも対応しており、より多くの世代の方々にとって使いやすい仕様となっています。

導入によるメリット

①会員にとっての利便性向上

・推薦申請機能に加え、会費の支払い、試合の申し込み・エントリー費の支払い、講習会の申し込み・受講料の支払いなどがオンラインでできます。

・試合情報が統合され、加盟団体が登録する試合をシステム上で簡単に確認できます。

・これまで気づけなかった近隣の試合へ参加する機会が増える可能も！

②加盟団体担当者の業務負担軽減

・会費などの入金消し込みなどの業務が不要となり、業務負担が大幅に軽減されます。

・加盟団体から各会員への情報発信をシステム経由で行うことで通信費を節約できます。

*

スケジュールと新システム導入に伴うお願い

新規会員向け登録開始 ■ 7月1日(火)

全会員向けリリース ■ 8月1日(金)

会員のみなさまは、7月18日(水)

7月31日(木)の間、推薦申請ができませんのでご注意ください。

日程は未定ですが、5月・6月に加盟団体向けの説明会を実施予定です。

また、スムーズな移行のために、**現**

会員のみなさまには6月30日(月)ま

でに既存の「ニチラネット」への登録

をお願いいたします。

現在、約半数の会員のみなさまがニチラネットにログインしたことがあり

ません。ニチラネットに登録することで、新システムのログイン用メールアドレスが事前登録され、スムーズな移行が可能となります。新システムリリース時にメールアドレスの登録がない場合、ご本人様確認に時間を要することがありますので、ご協力をお願いいたします。

新システムの導入は、会員のみなさま、加盟団体のみなさまにとって大きなメリットをもたらしますが、導入初期には一時的な負担が生じる可能性があります。新たな操作方法への習熟、データの移行手続き、一部機能の変更への対応など、ご不便をおかけすることもあるかと思えます。

しかし、本システムの円滑な導入と運用によって、将来的には業務の簡略化や利便性の向上が実現されることを確信しております。スムーズな移行のために、みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



既存のニチラネットに未登録の方は事前登録にご協力ください

ISSFメデイカル委員会による セミナー開催

さる3月13日(木)、ナショナルトレーニングセンターにおいて、ISSF国際射撃スポーツ連盟メデイカル委員会によるアスリート保護セミナー「ドーピング・メンタルヘルス・セーフガーディング」が開かれました。

講師をつとめたのは、ISSFメデイカル委員会委員長のジェームズ・ラリー博士。ドーピング対策、メンタルヘルス、セーフガーディング(選手の尊厳を守り、安心安全へ向けた取り組み)という3つのテーマで約1時間行われ、オンラインでも参加できることもあって、多くの選手が聴講しました。

アンチドーピング

- ・ 昨年からすべての国際競技連盟がT A国際テスト期間を利用
- ・ 選手自身が毎年出される禁止薬物リストを理解し、自己防衛することの重要性
- ・ わからないことがあったら自己判断せず、日方やISSFにコンタクトをとる

メンタルヘルス

- ・ インドの金メダリスト、アナミス・ピンドラ氏による取り組み
- ・ 選手の心の健康の重要性
- ・ 相談できる窓口の設置と心理的ケアの重要性

選手のセーフガーディング (尊厳と安全)

- ・ コーチ、選手間の相互尊厳の重要性
- ・ 性別による対応の違いを考慮することの大切さ
- ・ 身体的な接触が必要な場面での適切な配慮



など

2024年度 スポーツ振興くじ助成事業開催報告

昨年度、スポーツ振興くじ助成事業による補助金で、次世代を担うタレント発掘、一貫指導育成事業を全国各地で計87回行い、選手、スタッフ含め969名が参加しました。詳細は次のとおりです。

2024年度スポーツ振興くじ助成事業実績 (タレント発掘・一環指導育成事業)

事業	開催地	回数	人数 (選手/スタッフ)
埼玉 TID 事業	埼玉県川口市	9	37
長野 TID 事業	長野県長野市	8	61
愛知 TID 事業	愛知県刈谷市	8	38
石川 TID 事業	石川県金沢市	8	67
和歌山 TID 事業	和歌山県和歌山市	5	214
高知 TID 事業	高知県高知市	6	53
福岡 TID 事業	福岡県筑紫野市	11	68
佐賀 TID 事業	佐賀県佐賀市	6	71
長崎 TID 事業	長崎県長崎市	10	135
東北北海道ブロック合宿	宮城県石巻市	1	16
東海ブロック合宿	三重県津市	1	15
北信越ブロック集合指導	福井県福井市	2	53
近畿ブロックタレントハブ	大阪府能勢町	9	72
四国ブロック合宿	徳島県徳島市	1	16
九州ブロック合宿	沖縄県南原市	1	24
第1回 NTC 合宿 (NTC 射撃場)	NTC 射撃場	1	29
	合計	87	969

2025年度 理事会・総会の開催日が決定

2025年度の理事会・常務理事会・総会の開催日が決定いたしましたのでお知らせいたします。

2025年度主な会議一覧

開催日	会議名
5月14日(水)	第1回常務理事会
5月24日(土)	第1回理事会
6月14日(土)	定期総会
7月2日(水)	第2回常務理事会
7月12日(土)	第2回理事会
9月17日(水)	第3回常務理事会
9月27日(土)	第3回理事会
11月28日(金)	第4回常務理事会
12月6日(土)	第4回理事会
2026年2月11日(水)	第5回常務理事会
2月21日(土)	第5回理事会

※日程は変更になる可能性があります

スポーツ射撃体験会 開催報告

2023年度に引き続き、昨年度もスポーツ射撃体験会を実施。たくさんのお若男女のみなさんにスポーツ射撃に楽しんでいただきました。特に、パリオリンピック銀メダリストのユスフ・ディケチ選手の人気により、パリ後は受付から数時間で予約でいっぱいになるほどの人気になり、一部の方にはご迷惑をおかけすることとなりました。お詫びいたします。

今年度も各地で開催を予定しています。日程など決まりましたらホームページなどお知らせいたします。スポーツ射撃を知らない人たちにみなさまからぜひお声がけいただき、本事業をご紹介ください。



2024年度スポーツ射撃体験会一覧

実施日	事業	開催地	参加人数
6月30日(日)	スポーツ射撃体験会	東京都新宿区 日本オリンピックミュージアム	63
10月14日(月祝)	パリ応援ありがとう スポーツ射撃体験会	東京都北区 ナショナルトレーニングセンター射場	120
10月27日(日)	スポーツ射撃体験会	大阪府大阪市 大阪明星学園明星中学校・高等学校	80
12月1日(日)	能登半島復興支援 スポーツ射撃体験会	石川県羽咋郡志賀町 石川県立志賀高等学校	170
12月15日(日)	スポーツ射撃体験会	東京都新宿区 日本オリンピックミュージアム	63
12月18日(水)	オリパラアスリート講演会&射撃体験会	東京都足立区 東京都立花畑学園(特別支援学校)	60
1月12日(日)	スポーツ射撃体験会	東京都新宿区 日本オリンピックミュージアム	63
2月2日(日)	スポーツ射撃体験会	東京都新宿区 日本オリンピックミュージアム	63
3月2日(日)	東京マラソンランナー応援イベント TOKYO CHEER 2025 スポーツ射撃体験会	東京都千代田区 皇居外苑	772
		合計	1454

東京マラソンの会場内で、 スポーツ射撃体験会、開催

昨年、日本ライフル射撃協会の仲間入りを果たし、「可能性を秘めた新しい形の射撃競技」として注目を集めている estoring。インターネット上に構築された仮想空間で行うライフル射撃競技として、「オリンピックkeスポーツシリーズ2023」に、国内競技団体としていち早く参加しました。

この度、さらに手軽に、それでいて銃を撃つ感覚も味わえるものとして、新たに『バーチャルショット』が誕生。3月2日(日)に開催された東京マラソンのランナー応援イベント会場内で体験会が行われました。

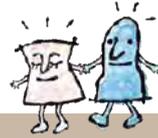
バーチャルショットは「ゲームで人を心を動かす」と人と人のつながりを強くし、温かみのあるゲームを通じて新しいコミュニケーションを創る」を目的としている株式会社Bufffとも共同開発したものの、やり方はとても簡単。アプリを入れたスマートフォンを専用のデバイス銃にとりつけるだけ。スマホでゲームを起動すれば画面上に標的が現れる。それを、ライフル射撃競技と同じように、時間内に、よ

り正確的に的を狙うというもの。バーチャル画面だから誰でも、どこでも、場所を選ばずにシューティングを楽しむことができます。

「ぜひ多くの人に手軽にシューティングを楽しんでほしい」とBufff代表取締役/CEOの成瀬兼人さん。

この日、会場を訪れた家族連れやカップルがこの新しい射撃を楽しんでいました。さらに手軽に、より身近に、2025年、スポーツ射撃界にまた新たな風が吹きそうです。





CONTENTS

特集

やまとなでしこ 初めの一步 P3
 ~につぼん女性射撃手History~

時代の証言者 P6
 日本初のオリンピック女子選手
 香西式子氏に聞く

射撃道 P10
 ロスではファイナルの舞台へ
 選手とともに世界に挑む三銃士たち

エミール・ドシャノフ前コーチ、退任に寄せて
ありがとう、エミール P13

令和6年度 秋の叙勲 P33

連載

新連載 **にしだあおいの栄養のあいうえお** P30

射撃学 **アスリートのための女性講座~その1** P8

射撃競技の明日を担う
未来のOlympian たち P28
 From Shooting Range File.8

大分県ライフル射撃協会 P14
大会レポート P15
2025年度国内大会スケジュール P23

強化指定選手の紹介 P24

リスポNEWS BOARD P34

射撃人 成山 悟史 常務理事 P38

今月の表紙

春。新しい1年の始まりです。読者のみなさんのなかには、新しい環境に飛び込んだ人も多いのではないのでしょうか。環境が変わった人も、そうでない人も、さあ、ここからスタートです。

ライフルスポーツ 春 2025 468 APRIL

発行：公益社団法人日本ライフル射撃協会
 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
 TEL 03-6721-0792 FAX 03-6721-0793

Http://www.riflesports.jp/

Email : rifle@riflesports.jp

発行人：松丸喜一郎

編集：総務委員会広報部会、78works

デザイン・印刷：明宏印刷株式会社

※ 本誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

記載記事、写真などの無断転載はお断りいたします。

取材に関しましては下記までご連絡ください。

E mail : shuzai@riflesports.jp

次号は2025年7月15日発行予定です。

射撃人

~ Shooting for All, All for Shooting ~

射撃がつないだ出会い

なりやま きどし 成山 悟史 常務理事

私の射撃人生は、人との出会いによって生まれ、継続されてきました。

大学入学時、なんとなく射撃部の門を叩き、始まった射撃人生が、ここまで続いていることに正直驚いています。

まず一つ目は、学連委員になつたことで生涯の友だちと出会います。

学生の多くは卒業と同時に射撃をやめていきますが、私の学年は続ける者が多く、もう少し関わっていたという思いから、卒業後も続ける選択をしました。卒業2年後に出場した東四国国体では同期が16人全国から出場し、同窓会のような感じでした。

続けるうちに母校のコーチ、そして監督の就任要請があり、結果20年務めることになりました。毎年新たな学生との出会い、そして別れも経験しました。監督時代を振り返ると、「もっとできたのではないか?」「コーチとして正しかったのか?」と反省することばかりです。

監督在任中に学連の支部長に就任することになり、それによつてさらに人との出会いが広がることになりました。

支部長となって監督を譲ることになり、少しゆっくりできる

と想っていた矢先、日ラのジュニア育成(発足当時はMPA部会)を担当することとなりました。今度は小中学生、高校生との出会いの機会をいただけることになり、現在まで12年関わらせていただいています。小中学生だった選手が成長していく姿を見られるのは役得であり、なによりも心躍らせる瞬間です。楽しいばかりではありませんが、自分を信じて続けてほしい、そう願っています。

現在は普及・生涯スポーツ委員会も担当し、ライフル射撃スポーツの普及と選手が射撃を継続できる環境の整備を行っています。大好きな射撃を多くの選手たちに続けてもらいたい。人々との出会いとともに、長く続けられることを心から願っています。



私たちは
日本ライフル射撃協会を
応援しています



JRSF Official Sponsors



JRSF Official Partners



MIZUNO
TRAINING



なりたいジブンへ

着るだけで、スイッチが入る。
心に火がついて、
身体を動かさずにはいられなくなる。
走る。飛ぶ。跳ねる。
汗を流すことが、
やがて力になっていく。
本気で戦うその日を目指して。



REACH BEYOND